



ダイヤモンドはどこでとれるの

キンバリー岩に、ふくまれている

ダイヤモンドは、炭素が、地中で数万気圧の高い圧力(物をおしつける力)を受け、結晶になってできたものです。

数百年前、インドで発見されたダイヤモンドは、川底や低い土地の砂の中から、見つかったものです。また、その後、ブラジルや南アフリカでも、同じような所から発見されています。

カナダやアメリカでは、氷河が運んできた、土や砂のつぶの中に、ダイヤモンドが発見されました。しかし、このダイヤモンドが、どこから流されてきたのかは、はっきりわかっていません。

南アフリカ共和国のキンバリー地方で、げんぶ岩に似た、キンバリー岩という、暗い緑色をした岩石に、ダイヤモンドが、ふくまれていることがわかりました。この発見から、キンバリー岩が、ダイヤモンドをふくむ岩石である、ということがわかりました。

南アフリカ共和国がいちばん多い

現在、いちばん多く、ダイヤモンドがとれるのは、南アフリカ共和国です。そのほかに多いのは、ロシアです。ザイール、アンゴラ、ベネズエラ、オーストラリア、アメリカなどでもとることができます。日本には、キンバリー岩がありません。それで、日本では、ダイヤモンドは、まだ見つかっていません。

また、人工的に、炭素に高い圧力をかけて、ダイヤモンドを作ることができます。ダイヤモンドは、もともとかたいものなので、宝石としてではなく、工業用にも多く使われています。(監修・国司 真)

